

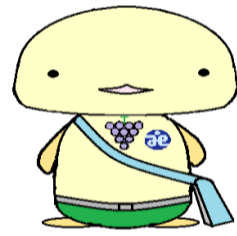
ほのぼの通信 第5号

平成 30 年 6 月 1日 発行

訪問看護ステーションかしわら

電話：072-970-2171

FAX：072-970-2172



柏原市社協イメージキャラクター
「ほのぼのちゃん」

この季節は、まだ暑さに体が慣れていません。こまめに水分補給をして、体温調節に気をつけましょう。さて、4月から、当ステーションの管理者が江見から萱村に変わりました。今年度もたくさんの出会いがありますよう、今後とも訪問看護ステーションかしわらをよろしくお願ひします。



訪問看護ステーションかしわら 管理者紹介



真ん中が、萱村管理者です。
スタッフ一同、心を込めてケアをさせていただきます。



H30年5月 ご利用状況

	認定	人数
介護保険	介護	44
	支援	6
医療保険	医療	8

訪問看護・リハビリなどご希望の方はお問い合わせ下さい。

訪問看護によるリハビリの利用について

平成 30 年度法改定に伴い、理学療法士のみでの利用の方につきましては、訪問看護師が訪問し、体調を把握した上でリハビリを実施する必要があります。

看護師訪問の際は、在宅生活でのちょっとした不安や、困ったことを、お気軽にご相談下さい。



例えばこんなこと

- いろいろな病院から薬をもらっているけど、市販薬やサプリメントと一緒に飲んでもいい？
- 最近、食欲がなくて、お通じの出も悪くなった感じがする・・・
- 塩分に気をつけるように言われたけど、どうしたらよいか？

などなど



体調が落ち着いている方に関しては、概ね3ヶ月に一度の訪問をさせていただきます。体調に不安のある方は、状況に応じて回数をご相談させていただきます。

リハビリ ワンポイントアドバイス

<脳梗塞のリハビリ>

- ・運動機能の麻痺を持つ患者が、回復期・生活期のリハビリで意識したほうが良いことは、麻痺のある側の運動機能だけでなく、麻痺の無い側の運動機能を同時に鍛えることです。
- ・脳梗塞により運動機能が麻痺すると、人の脳はその能力を学習により取り戻そうとします。この動きが最も高いのが、発症から間もない急性期（約2週間）です。そのため、急性期リハビリでは主に麻痺のある側の運動機能の訓練を重点的に行います。
- ・この動きは発症から時間が経つにつれて、少しずつ弱まっていくと考えられています。
- ・その代わりに高まると考えられているのが、麻痺の無い側の運動機能（例えば右手が麻痺している人の場合、左手を使って右手の能力を補おうとする力）です。
- ・そのため、主に回復期以降のリハビリでは、麻痺した能力を回復するための訓練に加えて、麻痺していない能力を用いて、さらに生活能力を高める訓練を行います。具体的には、利き手と逆の手で箸や鉛筆を持つ「利き手交換」のリハビリなどを行うことがあります。



* 訪問看護ではPT（理学療法士）によるリハビリも行っています。